

都市再生整備計画 事後評価シート
小浜まちなか地区

令和6年3月

福井県小浜市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	福井県		市町村名	小浜市		地区名	小浜まちなか地区			面積	約148ha	
交付期間	令和元年度～令和5年度		事後評価実施時期	令和5年度		交付対象事業費	476百万円	国費率	0.455			
1)事業の実施状況	事業名											
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	下水道(雨水渠改修)、地域生活基盤施設(広場1箇所、情報板1式)、高質空間形成施設(舗装高質化)									
		提案事業	地域創造支援事業(修景補助事業)、事業効果分析									
	当初計画から削除した事業	基幹事業	下水道(雨水渠改修)、地域生活基盤施設(駐車場3箇所)	削除/追加の理由			先行する他事業の進捗遅れ等による					削除/追加による目標、指標、数値目標への影響
		提案事業	防火施設整備(市道中央線他)	削除/追加の理由			地域防災計画の変更のため					影響なし
	新たに追加した事業	基幹事業	下水道(雨水渠改修)、高質空間形成施設(舗装高質化、街灯高質化)	削除/追加の理由			観光客の増加に寄与すると見込まれるため					影響なし
提案事業		なし	削除/追加の理由			-						
交付期間の変更	当初	令和1年度～令和5年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		なし						
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	指標1	地区内人口	人	8,883	平成29年	8,883	令和5年	△	あり なし	● 人口減少・少子高齢化に伴い、地区全体で人口が減少している。	令和7年3月	
	指標2	地区内観光客数	人/年	216,400	平成29年	240,000	令和5年	△	あり なし	● 新型コロナウイルス感染症に伴う移動制限等で利用者が減少したが、利用者は徐々に回復途上にある。	令和7年3月	
	指標3	まちの駅利用者数	人/年	141,900	平成29年	200,000	令和5年	×	あり なし	● 新型コロナウイルス感染症に伴う移動制限等が続いた影響により、利用者の回復に遅れがみられる。	令和7年3月	
	指標4								あり なし			
	指標5								あり なし			
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	その他の数値指標1											
	その他の数値指標2											
	その他の数値指標3											
4)定性的な効果発現状況	小浜まちなか地区の空き家が減少し、宿泊施設や店舗などに転用されることになったことで、通りに活気が出てきたように感じられる。また、三丁町などの有志主催の「三丁目バザール」を年2～3回開催しており、多くの来訪者による賑わいを感じられる。											
5)実施過程の評価	実施内容											
	モニタリング	実施状況									今後の対応方針等	
	官民連携による取組	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									○ 今後も引き続き、観光DMOを窓口として宿泊施設などの活用を進める。	
持続的なまちづくり体制の構築	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									○ 小浜西組地区の町並みを活かしたまちづくりができるよう取り組みを進める。		

様式2-2 地区の概要

小浜まちなか地区(福井県小浜市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
「住んでよし、訪れてよし」地域資源を活かした持続可能なまちづくり 目標1「住んでよし」安心安全に暮らすことのできるコンパクトなまちづくり 目標2「訪れてよし」地域資源を活かした回遊性のあるまちづくり	地区内人口	単位:人	8,883	H29	8,883	R5	8,017	R5
	地区内観光客数	単位:人/年	216,400	H29	240,000	R5	172,287	R5
	まちの駅利用者数	単位:人/年	141,900	H29	200,000	R5	81,987	R5



まちの課題の変化

・従前では浸水被害が見られたが、雨水渠の改修が完了したことで、区域内の生活安全度が向上し、区域内の居住環境は大幅に改善した。しかしながら、人口減少・少子高齢化に伴い、地区全体で人口が減少している。
・街路の美装化や、既存建築物の修景が進められたことで、歴史文化を感じられる美しい町並みが形成された。またサイン等の整備によりまちなかが周遊しやすくなった。しかしながら、まちの駅など一部施設ではコロナ禍による移動制限や旅行スタイルの変化などに伴う来訪者減による影響が残っている。

今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)

・防災訓練や防災教育などの実施により、今後も引き続き安全・安心なまちづくりを進める。
・また、まち歩き観光の拠点施設としてまちの駅・旭座・鯖街道周辺の機能拡充を進める。
・さらに、後瀬山城跡などの歴史文化資源や地区内の空き家・空き店舗などの活用を進めることで、地区内のまち歩き観光を進める。